

## 糖尿病・生活習慣病センター(糖尿病・代謝内科)

---

### 【概要】

欧米先進国はもとより、アジアの発展途上国においても肥満・糖尿病患者は増加の一途をたどっており、WHO(世界保健機構)はジュネーブでの総会において、全世界病死者の約60%以上に肥満が関与していたことを報告した。このような糖尿病疫学の実態を体感できるような研修を実施していく。

当科では内科全般の知識習得と、全科と有機的に連携した診療ができることを目標にする。糖尿病の慢性合併症に対しては、眼科・腎臓内科・循環器科をはじめ、あらゆる診療科と連携を密にし、その進展予防に努めるとともに急変時も即座に対応できる体制を作る。妊娠糖尿病では本人・家族・産科と交流を密にして厳格な血糖管理を行い、正常分娩をめざす。最後に、糖尿病治療のリーダーとして糖尿病センター専任の看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、地域連携室等のコメディカルスタッフと機能的に連携をとり、患者一人ひとりに必要な医療支援を提供できるような糖尿病専門医の育成をめざす。

### 【研修内容と特徴】

- ・糖尿病・生活習慣病のほか、内分泌・代謝性疾患に対し、質の高い治療、看護、教育を実施する。
- ・外来部門は専任ナースが常駐し、各科との連携を密にしながら全身管理を図る。血糖コントロールのみならず、他の成人病の管理を行い、合併症の予防と治療を実践する。
- ・入院部門は合併症の治療と内分泌疾患の精査加療を主な柱とする。糖尿病を有する症例に対しては、系統的な知識が得られるような指導を心がけ、専任スタッフによる食事指導、運動指導、薬物指導を積極的に組み込んでいる。
- ・月曜日から金曜日にかけて、多職種で構成された約20名のスタッフが分担して糖尿病教室の講師を努め、きめ細かな患者教を実践している。
- ・合併症を持っている症例に対して、専門的な治療とケアに加えて患者教育を行い、再発の防止に努める。
- ・甲状腺疾患や他の内分泌異常に関しても、積極的に精査をすすめ、病態を把握して最良の治療を行う。

### 【外来研修】

糖尿病を専門とする複数の常勤医師らが指導にあたる。フットケアやシックデイの対処法など外来での糖尿病教育、患者指導チームのあり方、質の向上方法についてのカンファランス参加を通じて正しい認識を共有する。個人・集団指導を体験することで、カリキュラムを自ら作り、実施、評価できるようにする。運動処方箋を作成できるようにする。

### 【入院研修】

- ・糖尿病教室の場で入院患者を対象に講演を行うことを義務づける。また、受け持ち症例に対して、栄養士によって糖尿病交換表や計量器を用いた栄養指導がなされる場合、ともに参加することを義務づける。
- ・食品交換表の利用方法を修得し、患者指導に活用する。
- ・県内全域から手術目的に紹介されてくる症例の周術期における血糖管理のみならず、一般内科医では血糖管理が困難となった多くの症例に対して、専門医とともに全身管理にあたる。インスリン自己注射および血糖自己測定の指導を行う。
- ・診療だけでは習得が困難な後述するような基本的知識は、毎月定期的に講義を行うことで補足する。まず、血糖が正常に調節・維持されるために、肝・筋・膵・脂肪といった臓器はどのように関連し合っているのかを教育する。
- ・薬物の副作用を十分に理解し、その具体的な対策を患者に指導できるようにする。
- ・急性合併症に対して、数種の臨床検査を組合せて総合的に病態を把握し、即座に対応できるように教育する。

### 【研修到達目標】

合併症を伴う糖尿病の治療の理論と実際の知識を習得、実施しその効果が評価できるように教育する。糖尿病前昏睡～昏睡患者の治療の理論と実際の知識を習得、実施しその効果が評価できるように教育する。糖尿病妊婦の管理を習得、実施しその効果が評価できるように教育する。低血糖に関する正しい知識と対応を体得できるように教育する。

### 【週間スケジュール】

- ・内科専攻医1年目(卒後3年目後期研修医)は、原則、週1～2 コマの専門外来と、週1コマの一般内科外来を担当する。
- ・当院では内科全般の知識を習得すべく、火曜日と木曜日の朝 7:30 から研修医を含めた全ての内科医師が自主的に合同勉強会に参加している。土曜日朝 7:30 からはとくに救急外来症例について、全科合同で勉強会を実施している。これの勉強会の多くは初期研修医が発表を担当するため、発表の準備段階から、すなわち、症例選択、スライド作成、考察、文献検索などを通して、初期研修医の指導を積極的に行う。
- ・第4金曜日は、糖尿病認定看護師を中心に多職種合同の勉強会を行う。高度肥満症例、経済的に問題を抱えた症例、難聴や視力障害をもつ症例、精神的に問題のある症例など対応困難な症例の問題点を多角的に検討したり、新しい機器の操作方法や診療アプローチなどを紹介し、参加者全員が最新の情報を共有したりする場を設ける。

### 【プログラム】

当センターは、日本内分泌学会認定教育施設と日本糖尿病学会教育施設として認定されており、これまでも多くの専門医を輩出してきた。基本的に、両方の専門医取得を目指す。本人の希望があれば、片方の専門医取得に重きを置くことも可能である。

---

---

#### 【お問い合わせ】

社会医療法人 友愛会

豊見城中央病院

臨床研修支援室 担当：川平

TEL:098-850-3811 FAX:098-850-3810

---

---